

元気なまち 藤枝

平成25年度
当初予算・組織改編(案)の概要



平成25年2月14日

基本理念

「選ばれるまち ふじえだ」づくり

第5次藤枝市総合計画

「ふじえだ2020グランドデザイン スマイルプラン」

元気共奏・飛躍ふじえだ

～元気つながる、笑顔ひろがる～

基本方針

- 子どもたちが輝くまち
- 誰もが安心して暮らせるまち
- 皆で協力し合うまち
- 誇りと元気のあるまち

平成25年度 重点方針

- ◆第5次総合計画の3年目 ⇒
目標の達成に資する取り組みの強化
- ◆「ひと＝活力」を戦略的に藤枝に呼び込む施策の実施
- ◆藤枝の魅力・情報の的確で積極的なPR
- ◆庁内分権、“人財”育成・確保など、
地方の時代に対応できる基礎自治体づくり

※本市では、市民のためにばりばり働く職員の育成に重点を置いて経営改革を進める方針の中で、職員を市の財産として考えることから、「人材」を「人財」の文字で表現しています

平成25年度の重点戦略①

1 安全安心プロジェクト

～市民のいのちと財産を守る～

危機管理体制の充実

交通安全、防犯・防災対策の推進

2 定住拡大プロジェクト

～誰もが永住したくなる住みよいまちづくり～

4つのKの推進、子育て支援の充実

安定的な医療の提供

平成25年度の重点戦略②

3 来訪拡大プロジェクト

～誰もが来訪したくなる藤枝の魅力発信～
来訪のきっかけづくり
消費のきっかけづくり
記念事業にあわせた取り組み

4 「財」創出・向上プロジェクト

～藤枝の価値を向上させる取り組みの推進～
経済活性化(産業の振興)につながる取り組み
インフラ整備の強化
市民活動の活性化
市役所内部の「質」の向上

1. 当初予算・組織(案)の概要



(1) 予算の規模

施策(し・さ・く)で ハッピー!

439

8000

一般会計 439億 8,000万円

全会計

(単位:百万円)

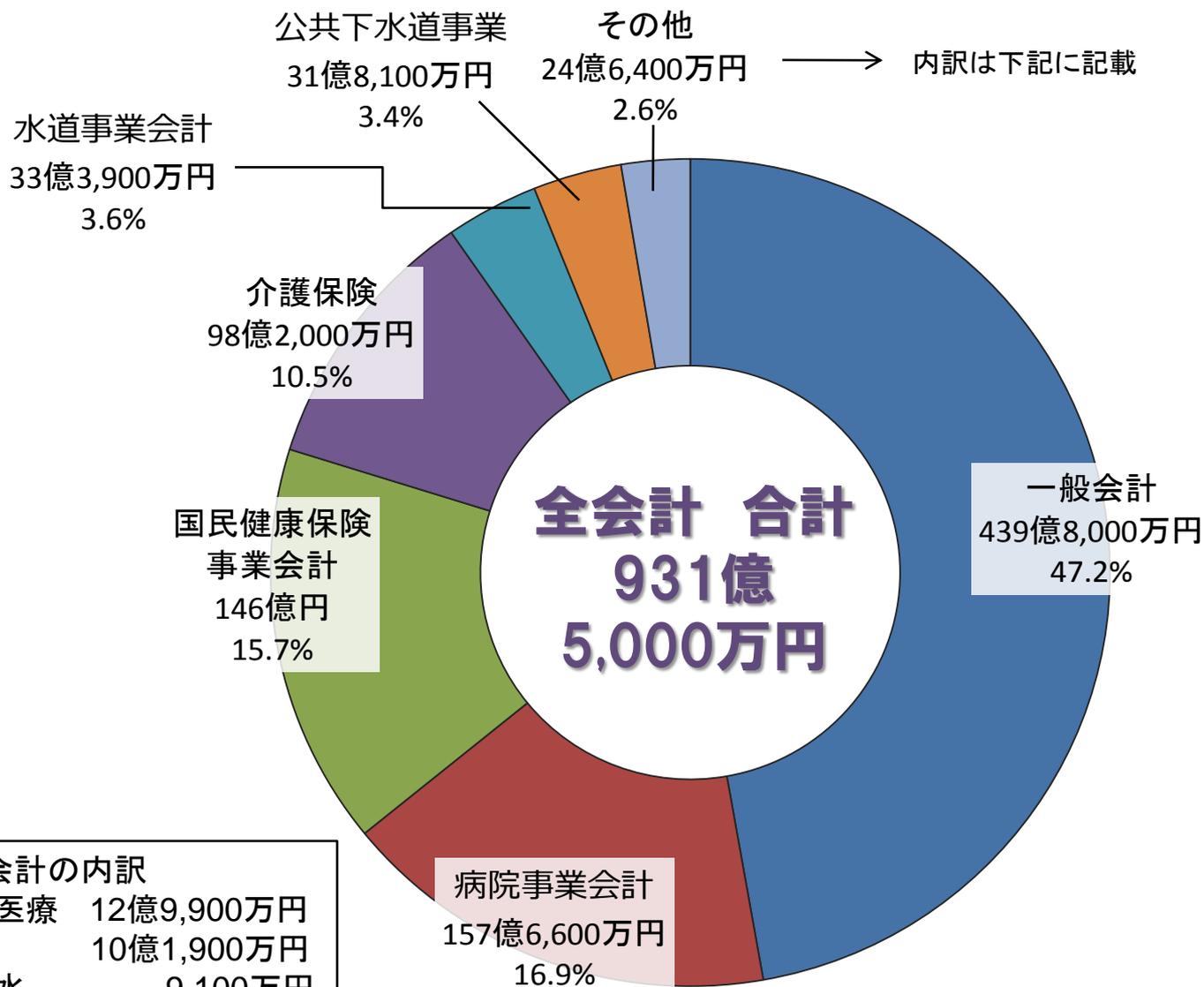
区 分	H25当初	H24当初	増 減	伸 率
一般会計	43,980	43,180	+ 800	+ 1.9%
特別会計	30,065	28,484	+ 1,581	+ 5.6%
企業会計	19,105	19,436	▲ 331	▲ 1.7%
合 計	93,150	91,100	+ 2,050	+ 2.3%

○一般会計・・・地方公共団体の行政運営の基本的な経費を網羅する会計。

○特別会計・・・特定の事業を行うための会計で一般会計と区別して収支を行う。本市では8つの会計がある。

○企業会計・・・地方公営企業法が適用される会計で原則独立採算。
本市では病院事業と水道事業の2つ。

平成25年度 会計別予算構成



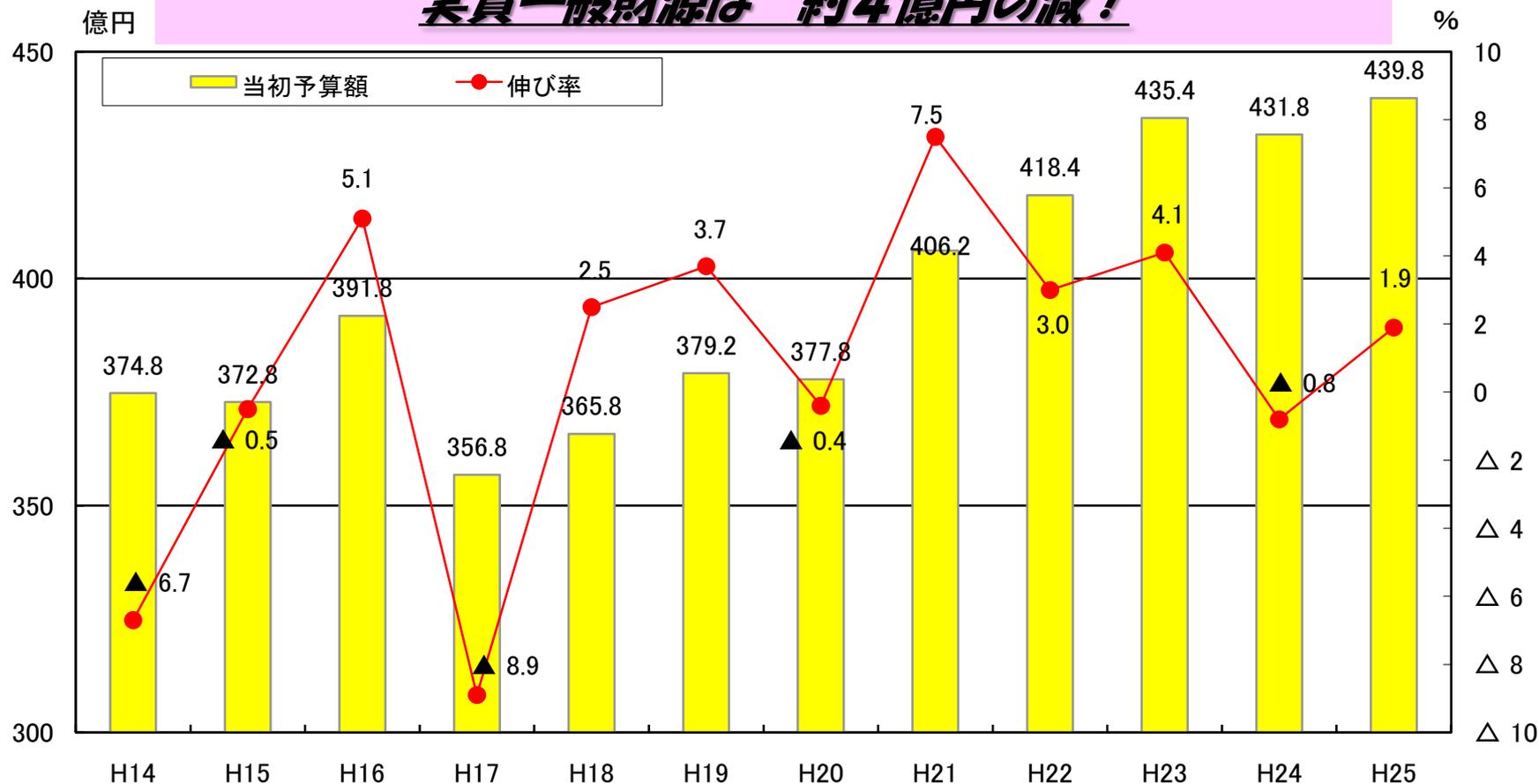
◎その他の会計の内訳

後期高齢者医療	12億9,900万円
土地取得	10億1,900万円
農業集落排水	9,100万円
簡易水道	3,300万円
駐車場	2,200万円

(2) 一般会計予算額の推移

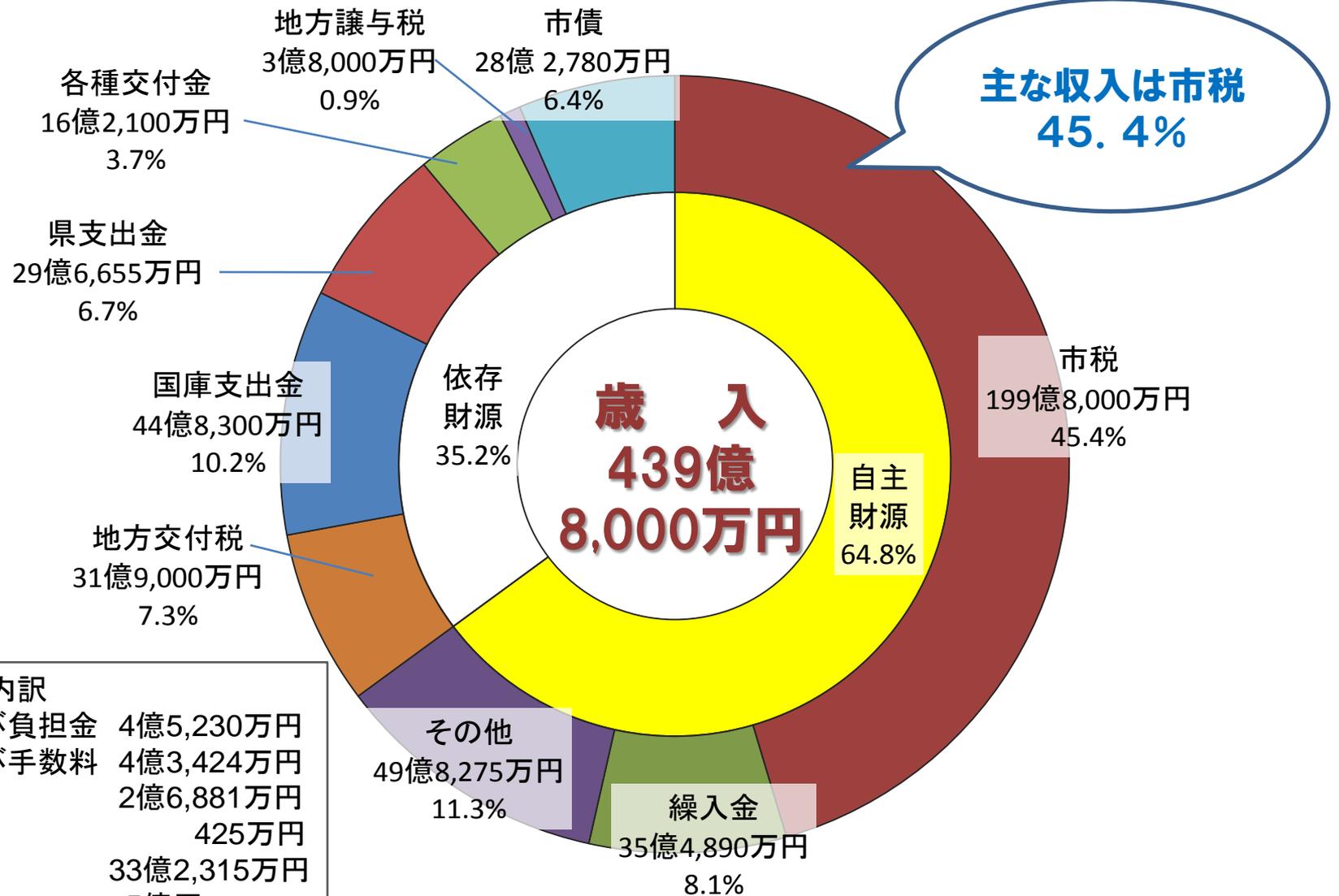
市民サービスの充実のため
予算規模は過去最大 伸び率+1.9%

一般会計総額は、前年度比+8億円
但し、土地開発公社の用地取得費の財源として
活用する土地開発基金繰入金分を除くと、
実質一般財源は 約4億円の減!



(3) 歳入の状況

◆平成25年度 一般会計 歳入予算内訳



◆主な歳入予算の増減要因

※ 増減は対前年度当初予算比較

市 税	199億8,000万円	+4億8,000万円	+ 2.5%
	家屋の新築、増築の増加に伴う固定資産税の増		
地方交付税	31億9,000万円	▲ 6,000万円	▲ 1.8%
	給与削減分の減、ワクチン接種及び妊婦健診補助金の一般財源化に伴う増 等		
臨時財政対策債 (実質的な地方交付税)	22億円	+2,000万円	+ 0.9%
	昨年度と同額程度を見込む		
利子割交付金等 各種交付金	16億2,100万円	▲200万円	▲ 0.1%
	自動車取得税交付金の減、地方消費税交付金の増		
国庫支出金	44億8,300万円	+ 2億4,887万円	+ 5.9%
	民生費国庫負担金の増、社会資本整備総合交付金の増		
県支出金	29億6,655万円	+ 2億3,168万円	+ 8.5%
	民生費県負担金、認定子ども園整備補助金の増、 妊婦健診及び子宮頸がん等ワクチン接種への補助金の減		
繰 入 金	35億4,890万円	+ 1億4,629万円	+ 4.3%
	土地開発基金及び総合文化施設整備基金繰入金の増、 財政調整基金繰入金の減		
市 債 (臨時財政対策債除く)	6億2,780万円	▲ 3億2,300万円	▲ 34.0%
	社会資本整備総合交付金事業債、河川整備事業債等の減		
その他 ※	53億6,275万円	+ 5,816万円	+ 1.1%
	市立保育所保育料の増 等		

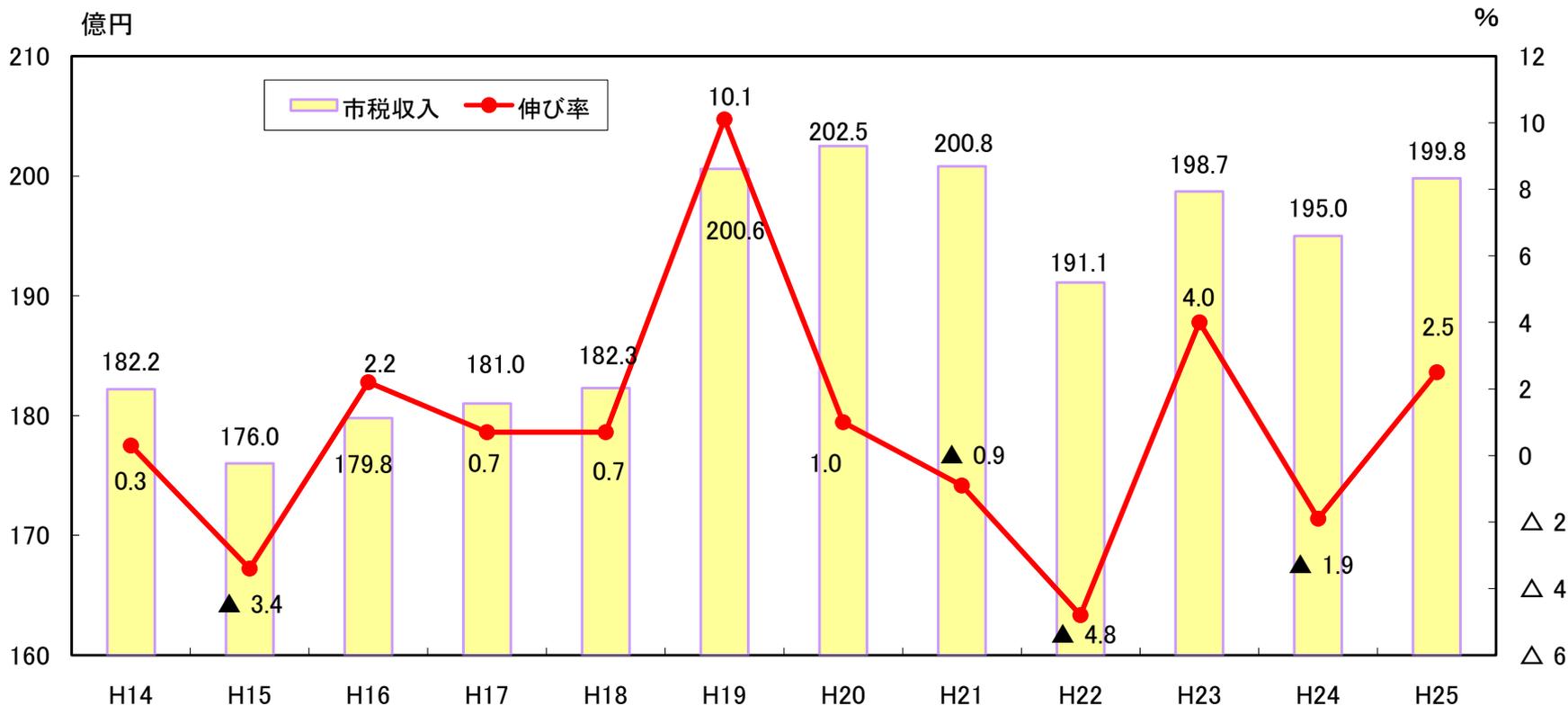
※その他は、円グラフの「その他」と「地方譲与税」を合計した数字です

(4) 市税の推移①

予算全体の
45.4%を占める

※ 増減は対前年度当初予算比較

市税合計	199.8億円	+ 4億8,000万円	+ 2.5%
------	---------	-------------	--------



※ H20以前は岡部町との合算

(4) 市税の推移②

※ 増減は対前年度当初予算比較

市税合計	199.8億円	+ 4億8,000万円	+ 2.5%
個人市民税	75億1,250万円	+ 1億3,440万円	+ 1.8%
	人口増に伴う納税義務者数の増加による増 退職分離課税の税額控除の廃止による減 等		
法人市民税	11億5,190万円	▲ 1億8,010万円	▲ 13.5%
	法人税率の引き下げに伴う減 等		
固定資産税	88億9,800万円	+ 3億2,540万円	+ 3.8%
	家屋の新築、増築等に伴う増		
市たばこ税	8億3,000万円	+ 1億3,000万円	+ 18.6%
	法人税率引下補填のための県たばこ税一部移譲に伴う増 等		

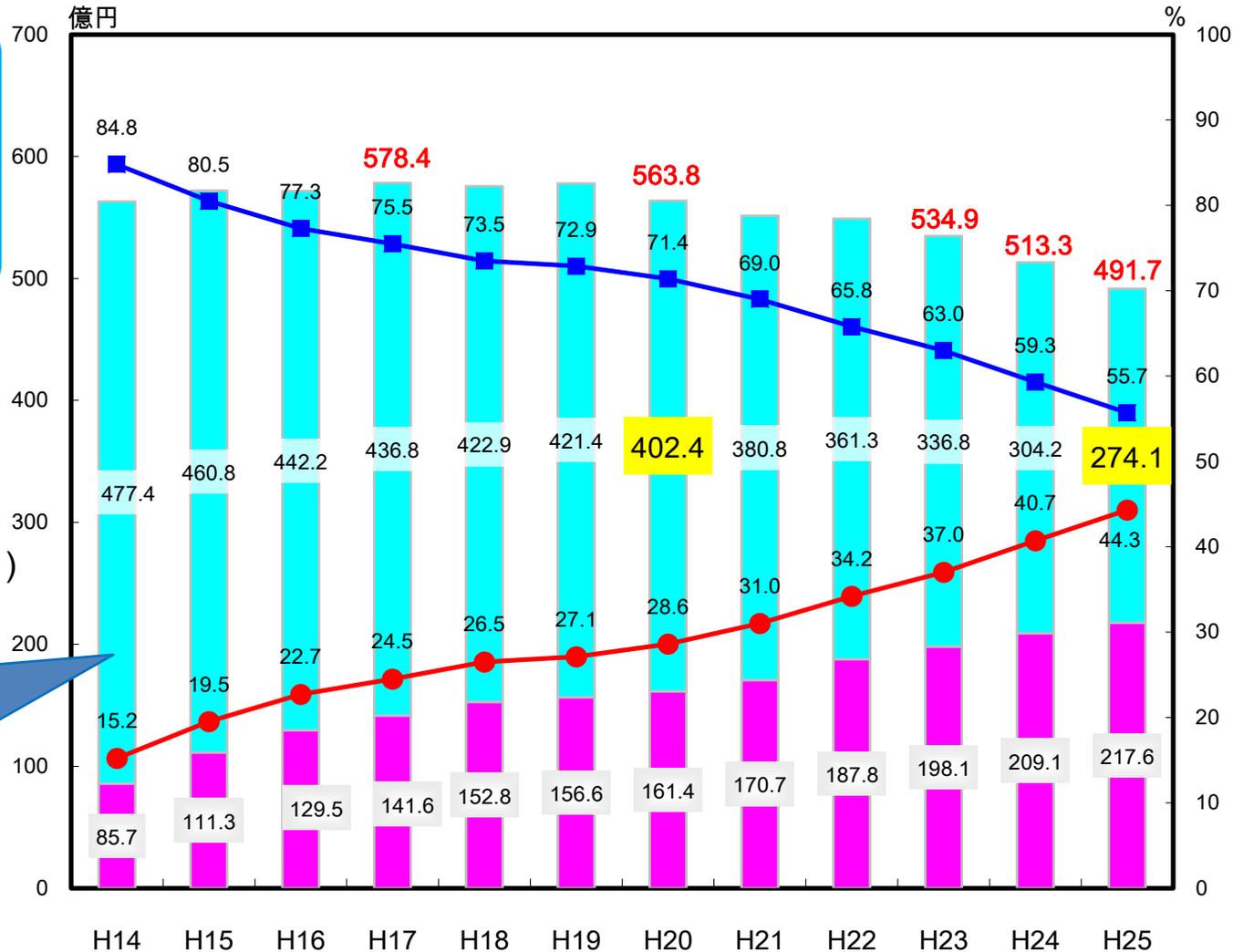
(5) 市債残高

【一般会計の市債残高】

一般会計の
市債残高を
500億円以下に
削減！

- 建設市債
- 臨時財政対策債等
- 建設市債（構成比）
- 臨時財政対策債等（構成比）

建設市債は
5年前と比較し
約130億円減少!!



※臨時財政対策債等＝ 国が償還金を負担する実質的な地方交付税

◆各会計別の市債残高

	20年度末 (決算額)	21年度末 (決算額)	22年度末 (決算額)	23年度末 (決算額)	24年度末 (見込)	25年度末 (見込)
一般会計	563.8億円	551.5億円	549.1億円	534.9億円	513.3億円	491.7億円
特別会計	228.6億円	228.7億円	225.3億円	221.6億円	217.2億円	212.6億円
企業会計	241.1億円	232.2億円	221.5億円	208.8億円	198.1億円	189.2億円
合計	<u>1,033.5億円</u>	1,012.4億円	995.9億円	965.3億円	928.6億円	<u>893.5億円</u>
臨財債等を 除く合計	<u>872.1億円</u>	841.7億円	808.0億円	767.2億円	719.5億円	<u>675.9億円</u>

※臨財債等＝ 国が償還金を負担する起債で**実質的な地方交付税**

市の取組

- ・積極的な繰上償還
- ・経費節減額を活用した借入の抑制

5年前(平成20年度末)と比較し、
全会計合計で 140億円、
国が負担する実質的な地方交付税分を除くと

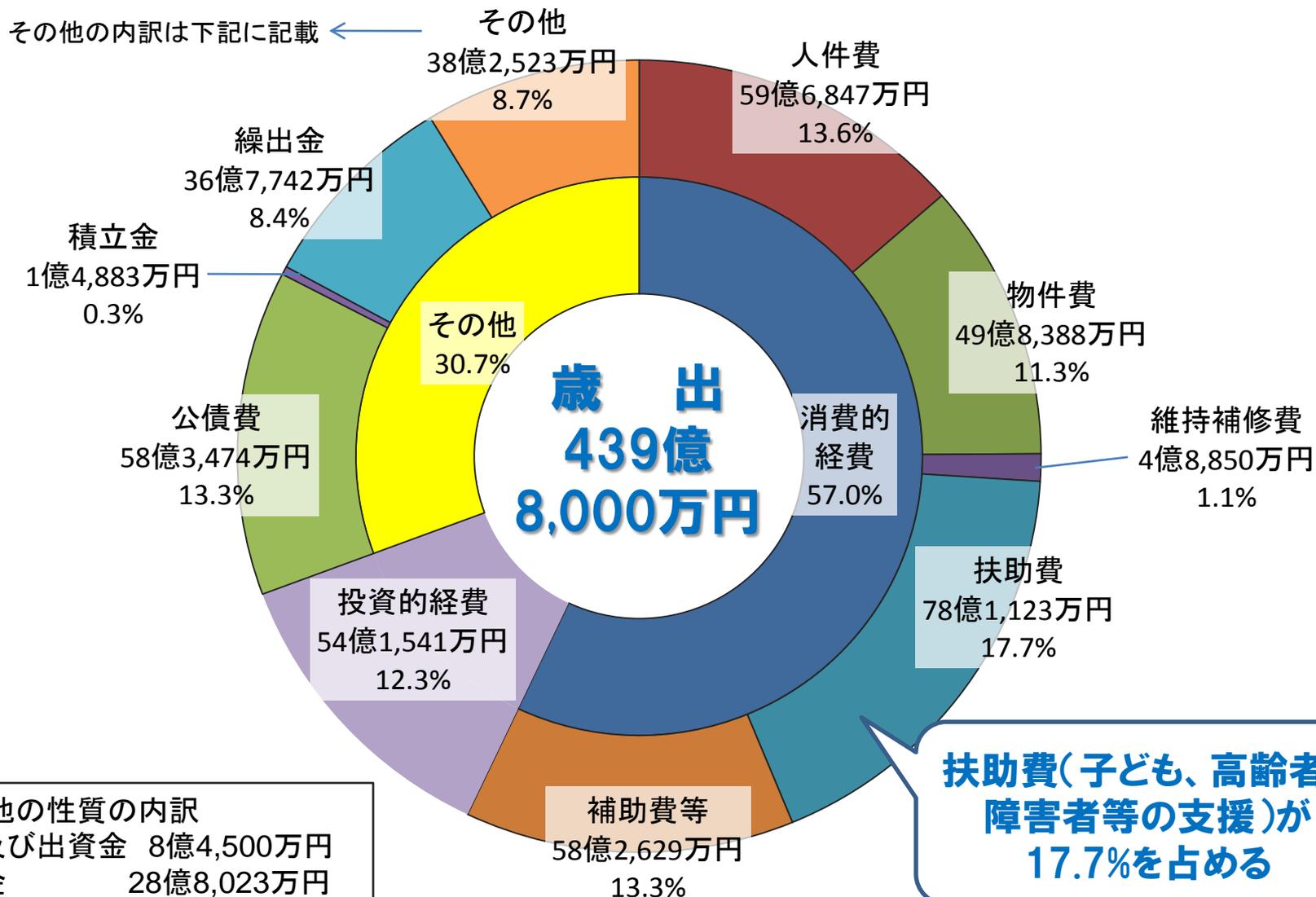
約200億円 削減の見込!

○総合計画の目標値(平成27年度末)
全会計の残高 927億円
(臨財債等分以外 700億円)

計画より2年前倒しで
達成できる見込み!

(6) 平成25年度 歳出予算の状況

◆平成25年度 性質別歳出予算



※その他の性質の内訳
 投資及び出資金 8億4,500万円
 貸付金 28億8,023万円
 予備費 1億円

◆主な歳出予算の増減要因

※ 増減は対前年度当初予算比較

人件費	59億6,847万円	▲10億4,051万円	▲14.8%	消防救急広域化による消防職員の減
物件費	49億8,388万円	▲2億8,375万円	▲5.4%	消防救急広域化による減、
扶助費	78億1,123万円	+3億7,098万円	+5.0%	障害者自立支援費、児童発達支援費の増、私立保育所等定員増による影響
補助費等	58億2,629万円	+10億2,567万円	+21.4%	消防広域化による志太広域事務組合負担金の増
投資的経費	54億1,541万円	+6億2,087万円	+12.9%	土地開発公社からの用地買い戻しの増（西高跡地、駅北事業用地ほか） 認定子ども園新設支援の増
繰出金	36億7,742万円	+1億3,005万円	+3.7%	国民健康保険事業、介護保険特別会計繰出し金の増
公債費	58億3,474万円	▲1億5,460万円	▲2.6%	元金及び利子償還金の減

(7) 繰出金等の状況

会 計 名	一般会計からの繰出金等	増減 (H24比)	増減率
国民健康保険事業	10億7,532万円	+ 8,116万円	+ 8.2%
簡易水道事業	1,996万円	▲81万円	▲ 3.9%
公共下水道事業	8億7,599万円	+ 447万円	+ 0.5%
農業集落排水事業	6,580万円	▲ 207万円	▲ 3.1%
介護保険	14億2,757万円	+ 4,248万円	+ 3.1%
後期高齢者医療	2億1,279万円	+ 484万円	+ 2.3%
病院事業	21億円	± 0万円	0.0%
水道事業	218万円	▲ 29万円	▲ 11.8%

(8) 各種指標の推計

健全化判断比率は着実に改善

改善の要因は市債残高の減少

◆当初予算額での推計

(単位：%)

項目	H20(決算)	H24	H25	H20との比較	備考
実質公債費比率	15.7	13.8	13.8	▲ 1.9	健全な状態！ (25%以上は早期健全化が必要)
将来負担比率	113.6	84.4	76.0	▲37.6	着実に改善！ (350以上は早期健全化が必要)
経常収支比率	88.9	88.8	88.8	▲ 0.1	全国平均(90.3)よりgood！

○実質公債費比率・・・借入金の返済にかかる負担の重さを示す指標で、市のすべての会計と一部事務組合(志太広域事務組合など)が対象となる

○将来負担比率・・・市のすべての会計の借入金や将来払っていく可能性のある負担など、現時点での残高を指標化し、財政への圧迫度を表す

○経常収支比率・・・自治体の財政構造の弾力性を表す比率。人件費、扶助費等の経常経費に市税等の一般財源がどの程度充当されているかを見るもの。

(9) 組織の状況

■平成25年度 藤枝市行政組織機構

25年度戦略方針に基づき、目的・成果志向型で実践的な組織にします！

《主な改正内容》

部など	課など	新たな戦略
企画財政部	企画政策課	定住人口の拡大に向けてシティ・プロモーションを推進 市制60周年に向けた事業調整
	連携交流室【改称】	交流人口の拡大に向けてシティ・プロモーションを推進 広域連携と都市交流、国際交流を推進
市民文化部	市民活動団体支援室 【新設】	市民協働の総合窓口として本市の元気づくりを推進
産業振興部	産業集積推進課 【新設】	新産業の集積と市内企業への支援により地域経済を活性化
教育部	図書課【新設】	市内3館の特性を生かし、市民に親しまれる図書館行政を推進 (駅南図書館、岡出山図書館、岡部図書館)
	岡部支所【改編】	機動力と実働性を生かし、実務的に地域の交流と活性化を推進
消防本部	【志広組に編入】	志太広域事務組合に編入して志太消防本部を設置

(10) 職員数の状況

■ 予定職員数（新・定員適正化計画による定員管理）

（単位：人）

年 度		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 （予定）	27年度 （目標）
目 標 数		795	773	759	729	729	728	724
実 職 員 数		789	752	742	728	732	728	
増 減	単年度	—	▲37	▲10	▲14	4	▲4	
	累 計	—	▲37	▲47	▲61	▲57	▲61	▲65

※各年度4月1日現在の職員数（特別職、教育長、消防本部、病院職員を除く）

新・定員適正化計画（H23～H27）に基づく定員管理

【基本的な考え方】

～職員の高揚と組織の活性化～

- ① 経費の最大活用で質の高い市民サービスを提供
- ② メリハリのある業務配分と職員間の業務量の適正化
- ③ 重点施策の推進体制強化に向けた人事配置
- ④ 市民にとって真に必要な業務への職員の重点配置
- ⑤ “適財適所”の人事配置

職員数削減の目標

計画前(H22)
742人
↓
最終年度(H27)
724人
(▲18人)

2. 重点施策別主要事業・組織



【1】安全安心プロジェクト ～市民のいのちと財産を守る～

(1) 危機管理体制の充実

組織】「危機担当監(調整監兼務)」の役割を強化

危機担当監を中心に、各部局の個別防災計画や業務継続計画（BCP）の管理と見直しを行い、災害時には迅速な初動体制を整えます

新】災害時の通信手段の確保

1億6,820万円

防災通信機器のデジタル化と複数通信体制への強化（県との共同整備）
デジタル防災無線整備、県防災情報共同システムの整備

新】地域防災計画の改定

205万円

国・県の被害想定公表を受け、本市の地域防災計画を見直し、よりきめ細かな計画を策定（平成25年12月完了）する。また、防災ハザードマップを全戸配布。

新】水防配備体制の充実

100万円

ゲリラ豪雨等の風水害に対応するため、民間気象情報提供会社と業務提携してより多くの情報を収集（5ヶ月間の試行導入と検証）し、万全を期す

○ 地理情報システムの充実

200万円

危機管理対応を目的としたGIS（地理情報システム）構築のための機器導入経費（平成25年度末完成）

(2) 防災・防犯対策の充実

■ 原子力災害への備え

新) 原子力災害への対応の充実

130万円

UPZエリア・避難方法・安定ヨウ素剤服用方法等を記載したチラシを全戸配布、安定ヨウ素剤の備蓄

■ 地震災害への備え

新) 西部学校給食センターの耐震整備

5,150万円

西部学校給食センター管理棟の耐震補強工事を実施
工事期間：H25年6月～10月

○ 市民会館の耐震リニューアル事業

5億4,200万円

安全で使いやすい市民会館のリニューアル工事の完了（H25年8月）
文化の拠点として活用。 全体事業費 9億7,300万円（総合文化施設整備基金の活用）

【水道事業会計】

新) 水道施設・管路等の耐震化事業

平成32年度までの整備計画を作成し、基幹管路や配水池等の耐震化を実施
（対前年比約1億円の予算増）

※平成25年4月から水道料金を平均4.9%引き上げ、財源として活用

拡大】住宅・建築物耐震改修助成

6,734万円

わが家の専門家診断委託（150件→200件）、
木造住宅補強工事費助成（80件→100件）、高齢者追加助成（30件→40件）など

○ 家具転倒防止への助成

300万円

高齢者世帯等への家具転倒防止（200世帯 600件分）

■防災啓発の充実

新】風水害対策への意識高揚事業

100万円

ゲリラ豪雨等の風水害に関するパンフレット作成、全戸配布
（地域防災指導員等へ説明会実施）

○ 企業のBCP策定支援

42万円

BCP（事業継続計画）を策定する企業を支援
（BCP簡易版作成講座、啓発パンフレット作成）

■防犯対策の充実

拡大】地域防犯活動の推進

62万円

瀬戸谷地区に防犯まちづくり推進協議会設立（10地区すべてに設立完了予定）

○ 防犯灯設置助成の充実及びLED化の推進

1,040万円

自治会、町内会が整備する防犯灯の設置費や修繕料を助成

既設防犯灯のLED化の助成額は、昨年に引き続き1万円を交付

助成件数 LED灯設置 480灯（前年度比 +280灯）

蛍光灯 新設 80灯、修繕 2,300灯

(3) 消防救急体制の充実

【組織】 消防救急広域化による消防救急力の強化

志太広域事務組合に「志太消防本部」を設置します（H25.3.31組織設置）

- ・スケールメリットを生かした消防現場部門の充実（+10人）
- ・市の災害対策本部と志太消防本部との密接な連携を継続

消防団活動の支援体制を継続して維持します

新] 志太広域事務組合 負担金

11億4,216万円

職員250人体制で、藤枝・焼津の市民の安全を守ります

○消防救急無線のデジタル化

通信指令体制を強化し、消火・救助活動の更なる迅速化を図ります

工事期間 H25年度～H26年度（債務負担行為）

総事業費 6億9,306万円（H25年度 3億4,906万円）

○緊急車両の更新

計画的に車両を更新し、最新の設備で市民の命を守ります

救急車1台、化学ポンプ車1台

総事業費 9,732万円

新] 消防団活動の環境整備

- ・詰所（下藪田）の耐震改築
- ・車両の更新（北方、村良）
- ・ホースタワーの計画的整備（音羽町、下青島、高柳）

すべての詰所の耐震化が完了！

5,600万円

2,690万円

2,400万円

510万円

(4) 交通安全の推進

～目指せ、交通安全日本一!～

拡充) 交通安全日本一推進事業

320万円

市民の交通安全意識向上のための啓発や動機付けとなる事業

新) 高齢者の運転免許証自主返納を支援

運転経歴証明書（免許証に代わる身分証明書）発行手数料の助成を開始
（補助率1/2、助成額500円）

○ 自発光式反射材着用の普及促進

効果的な活用方法の講習会を実施（対象6,000人）
歩行者の意識向上と交通事故防止を図る

○ セーフティ・スクールゾーン活動

地域の協力のもと、小中学生の安全を守る街頭指導を継続して実施



自発光式反射材の着用促進キャンペーン



高齢者対象の交通安全講座の様子

○ **ゾーン30交通安全施設整備** 300万円

住民、警察との連携による対象区域内の車両速度
30km規制等実施のための安全施設整備工事
H25予定 音羽町地区（藤枝中央小付近）

【H24の取組】

指定地区：岡部町三輪地区（オレンジタウン）

※地区内全ての道路を最高速度30kmに規制

整備内容：

◎通行車両速度抑制対策

- ・地区進入口5か所に
ハンプ（道路段差）、路面表示、道路標識を設置
- ・主要道路のカーブ箇所等をカラーで着色

◎歩行者の安全対策

- ・主要道路の路肩に外側線を設置、路肩部を着色
（グリーンベルト）

地区の入口にハンプを
設置し、車両速度の抑制
と、運転手の注意を促し、
交通安全を推進します！



【参考】ハンプ（車両の減速を促すための道路段差）

新】安心・安全な通学路整備

1,600万円

通学路の緊急合同点検結果に基づく安全対策
（カラー舗装、グリーンベルト表示等）を実施 ※5カ所施工

○ **交通安全施設の整備、交差点の改良等**

4,000万円

地元からの要望や事故発生データを基にした危険箇所へのカラー舗装や
路面表示等の整備、カーブミラーなど交通安全施設の整備

(5) 安全な環境づくりのための基盤整備の充実

○ 道路新設改良事業 2億6,500万円

・ 地元からの要望による生活道路の整備や交通安全対策の実施

○ 河川・水路の改修 1億7,000万円

・ 河川・水路の改良による浸水被害の軽減及び地域の環境改善

○ くらしの道緊急修繕 7,000万円

・ 市民からの情報提供による道水路の維持、補修の実施

○ 土地改良事業（農業の基盤整備） 5,758万円

・ 農道や農業用水利施設の基盤整備（国庫補助、県補助、市単独事業）

○ 治山事業 4,226万円

・ 治山事業の実施による森林の整備・保全・災害防止



【2】定住拡大プロジェクト

～誰もが永住したくなる住みよいまちづくり～

(1)「4つのK」の推進 ※「危機管理」を除く

■健康

～目指せ、健康・予防日本一！～

☆子どもの健康支援

市民提案の
最優秀賞を事業化

新) こども健康チャレンジ事業

80万円

小学校に保健師が出向き、健康講座を実施（対象5年生）
自分と大切な家族の健康を守る意識を高め、子どものうちからの健康づくりと
保護者の健診受診を促す

○ 予防接種による感染症等の予防

3億7,200万円

不活化ポリオワクチン、BCG、日本脳炎、
麻しん風しん など

※子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、
小児用肺炎球菌ワクチン接種が
任意予防接種から定期予防接種に制度改正



歯の健康まつりの様子

～目指せ、健康・予防日本一！～

☆大人の健康支援

新) ピロリ菌胃がんリスク検診の導入

8,880万円

胃がんになりやすいかどうかをリスク分類する「ピロリ菌胃がんリスク検診」を導入

拡充】 歯周疾患検診及び啓発の充実

300万円

歯の健康づくり推進のため、40、50、60、70歳の節目年齢での検診実施と、
節目年齢の対象外の人に啓発事業の実施

○ 健康マイレージ

120万円

健康行動の定着を目指し、web版をスタートさせたマイレージ制度の継続
目標実践者数 3,000人 目標協力店舗 100店舗

○ ふじえだ健康スポット20選

280万円

藤枝市を象徴する健康スポットを活用したウォーキングイベント等の開催

○ こころの健康づくり体制の充実

100万円

ゲートキーパー（自殺対策に関する知識を持つ人材）の養成講座（2回）、
講演会等啓発事業を充実

☆高齢者の健康支援

新) 在宅寝たきり高齢者への歯科訪問指導

50万円

通院できない要介護者を歯科衛生士が訪問し、口腔チェックと指導を実施
(件数 200件)

拡充】認知症地域支援体制の充実

460万円

認知症地域推進員(1名)を新たに専任配置し、相談・支援体制を充実
自治会単位での介護予防普及啓発講座の開催

○ 介護予防事業の充実

3,912万円

高齢者がいつまでも元気で過ごせるように介護予防事業を実施
はつらつシニア大学(けんこう学部、運動学部、脳学部)

☆スポーツを通じた健康支援

拡充】生涯スポーツ推進事業

450万円

スポーツ推進員の協力によるニュースポーツ教室の充実(2期→3期)及び
特定健診受診者への啓発の充実

○ 総合運動公園への野球場整備

1億5,800万円

H25年度完成予定(グラウンド舗装、ダックアウト・本部・バックネット)
市民の健康づくりの場の充実

■環 境

～目指せ、環境日本一！～

☆環境意識の啓発

新) 「“もったいない” 市民の集い」 の開催 240万円

エコファミリー認定家族、もったいない倶楽部
会員など市民参加の啓発イベントを開催、
環境意識向上を図る

時期：12月14日（土）

会場：生涯学習センター

○ 環境フェスタ “もったいない” 開催

200万円

開催時期：5月 / 会場：蓮華寺池ホール、広場

※花と緑のフェスタと同日開催

○ 省エネチャレンジ推進事業

193万円

省エネ目標達成に向けて市民のエコ生活チャレンジを支援

※エコファミリー宣言 目標：H27年度 30,000人（H24年度 11,861人）

もったいない電気みつけ隊 1,224人（小学4年生）など



環境フェスタでの発電体験の様子

☆ごみの減量対策

拡大】家庭系生ごみ回収資源化事業 3,200万円

各家庭から排出された生ゴミを分別回収し、堆肥化のための一次処理を実施
対象を4,000世帯から6,000世帯に拡大

(新たに青木・岡出山・稲川地区の8町内会を加え、計26町内会で取組)

☆地球温暖化防止対策

拡大】新エネルギー機器等導入支援の充実 3,800万円

- ・住宅用太陽光発電システム設置費補助(上限6万円)の件数拡大
(250件→600件)
- ・強制循環型太陽熱利用システム、家庭用燃料電池、
定置用リチウムイオン蓄電池の設置補助(上限10万円)

新】公共施設サンシャイン活用推進事業 【ゼロ予算】

青島小学校、西益津中学校の屋根を事業者へ貸し出し、
太陽光発電設備を設置

(年間46万円の使用料収入)

組織】 教育部に「図書課」を設置

駅南図書館及び岡出山図書館に、新設する岡部図書館を加えた3館の特性と発信力を発揮し、市民に親しまれる図書館行政を進めます

※各図書館に館長（主幹級）を配置

☆教育日本一推進体制の強化

新】教育振興行動計画の策定

16万円

教育振興基本計画を推進するため、行動計画を策定
具体的な取り組みを明確にする

☆学校教育の充実、教員の支援

拡充】藤枝型英語教育カリキュラムの実践

5,752万円

A L T（外国語指導助手）を活用し、小学校（5年）から中学校（3年）まで、連続した英語教育を全校で実施

※A L T 1名増員

新】ふじえだ教師塾の設置

330万円

大学生や講師など教員を目指す人や現職教員に講座を実施

藤枝の将来を担う子供たちを育てるため、志の高い教員を育成

対象：大学生及び大学院生、講師、社会人、

教職2年目、3年目、中堅（30歳代）の教員

～目指せ、教育日本一！～

○ **大学と連携した授業支援** 50万円

大学生を活用した授業の充実

参加大学：静岡大学、常葉大学、静岡産業大等

○ **学校支援相談体制の再編** 3,915万円

生活支援員、相談員、スクールアシスタントを「学校支援相談員」に整理統合

新) 学校ネットパトロールの実施 260万円

インターネット上の悪質な書き込みを早期に発見し、ネットでのいじめや個人情報の流出を未然に防止

☆特別支援教育の充実

拡充) 特別支援学級の増設 1,872万円

H25 小学校8校 25学級（葉梨小、高洲小に知的・情緒学級を新設）

中学校5校 11学級（高洲中に知的学級を増設）

※「特別支援学級支援員」を配置

拡充) 発達障害を持つ中学生への支援（する～ぱす） 205万円

全校を対象とした支援教室（1カ所）、中学校に支援教室を開設（中学校2校）

※H24 全校を対象とした支援教室（1カ所）

☆生涯学習の推進、文化施策の充実

新】岡部支所内に岡部図書館オープン

30万円

市内3つの図書館を拠点とした市の魅力と情報の発信
4月1日（月） オープニングイベント開催

新】藤枝地区公民館の整備推進

1,100万円

基本設計及び実施設計（債務負担行為）の業務委託
工事期間 H26年度～H27年度 H28. 4月開館予定

新】市民会館のリニューアルオープン

500万円

10月1日（火） オープン記念式典開催
11月3日（祝） 市民参加の記念コンサート開催

新】街道文化履歴書の作成

90万円

東海道沿線の民俗文化（まつり、くらし、言い伝えなど）の調査をもとに、
履歴書（記録）を作成し、次の世代に伝えていく
・冊子作成 300部（学校等公共施設に配布、市民向けに販売）

(2) 子育て支援の充実

- ◎ 県の「中央児童相談所」と市の子育て支援部門の連携強化
県の中央児童相談所が4月1日に藤枝市岡出山に移転。
今まで以上に連携を密にし、子育て支援を充実していきます！

■ 保育所待機児童の解消対策

新) 認定こども園創設への支援

3億2,371万円

広幡幼稚園の認定こども園化への支援

定員252人（保育園42人、幼稚園210人）

補助金 3億 371万円、 貸付金2,000万円

■ 小学生をもつ子育て世帯の支援

新) 放課後児童クラブの増設

3,184万円

高洲第2児童クラブ施設を建築 (定員50人)

拡充) 放課後児童クラブ運営体制の充実 9,100万円

社会福祉協議会に一括委託し、統一的な運営を図る

主任指導員の常駐化による相談体制の充実



放課後児童クラブの様子

■発達に課題をもつ児童の支援

新】 ふじえだ型発達支援システムの構築
障害児者に対する乳幼児期から就労期までの
各段階の支援計画を策定

50万円



新】 幼稚園・保育園における保育体制への支援

幼稚園・保育園が発達に課題のある児の保育に対応するための支援
※対応に必要な保育士等の雇用への補助

400万円

県のモデル
事業に参画

☆生活保護世帯の子どもの学習を支援

新】 学習チャレンジ支援モデル事業

【ゼロ予算】

学習の場を提供し、教育相談及び学習支援を行い、高校への進学を促進。
就職率の向上と、子どもの自立促進を図る。

対象：中学生のいる生活保護受給世帯

支援内容：中学生への支援・・・学習支援教室での支援（週2回程度開催）
世帯への支援・・・教育支援員による教育相談及び進路相談

(3) 安定的な医療の提供

○ 志太榛原地域救急医療センターの施設整備

2,500万円

感染症対策強化のための感染者用診察室・観察室の設置等、施設・医療機器の整備を実施
(県の地域医療再生推進事業費補助金(補助率10/10)の活用)

○ 国民健康保険の安定運営への支援(繰出金)

10億7,532万円

保険税改定に伴う税率抑制と低所得世帯の負担軽減を図るため、
国民健康保険事業特別会計への繰出金を増額
※H25.4月より保険税を改定

新) 市立病院の救急センターの工事に着手 **1億5,490万円**

鉄骨造3階建 2,280.17㎡

総事業費 約8億円

工事期間 H25.7月~H26.10月

(平成27年4月オープン予定)



救急センターのイメージ図

市立総合病院の運営

中期経営計画に基づき
着実に改善！

◎経常収益の見込

(単位:千円)

	H19実績	H 2 4	H 2 5	前年対比 予算増減
	(中期経営計画策定前)	予算	予算	
収益合計	11,490,000	13,836,000	14,127,000	291,000
費用合計	13,446,000	14,030,000	14,077,000	47,000
当期利益	▲1,956,000	▲194,000	+50,000	+244,000

中期経営計画(H21~H25)

H19年度
収支赤字
▲19.6億円

- 診療体制の充実
 - ・医師の確保
 - ・看護師の確保
- 病院機能の充実

- ・「地域がん診療連携拠点病院」の指定取得
- ・質の高い医療サービス・看護サービスの提供による診療単価のアップ

H25年度
収支
黒字化へ！

市民の命を守る
公立病院としての役割を
果たすため、
経営自立化を図り
安定経営を目指します！

- 一般会計から市立病院への支援 21億円
 - 病院事業会計負担金 12億5,500万円
 - 病院事業会計出資金 8億4,500万円

(4) 住みよいまちづくりに向けたその他の取り組み

新) シティ・プロモーションの推進

100万円

- ・ 民間団体等が実施する藤枝のシティ・プロモーション活動に対する補助制度の創設（上限25万円／団体）

拡大】 勤労者の住宅建設と子どもの教育資金を支援

- ・ 住宅建設資金貸付事業の対象件数の拡大 25億4,180万円
新規貸付枠を90件から100件に拡大（限度額1,200万円／件）、過年度分645件
※シティ・プロモーションに対応するため新規分を増額
- ・ 教育資金貸付事業 1億6,845万円
新規分 40件（限度額200万円／件）、過年度分 215件

○ 中山間地域への移住促進のため

空き家バンクを活用 200万円

空き家バンクに登録した家屋に移住する場合の
改修費等を補助
家屋改修費補助 4戸を予定
(補助率1/2)



滝ノ谷不動峽の紅葉まつり

○ 中心市街地活性化の推進

7億8,650万円

駅周辺の再開発を支援し、暮らしを支える環境を整え、
街なか居住を推進

- ・ 中心市街地タウンプロモーション事業 1,620万円
- ・ 駅前一丁目8街区市街地再開発事業費補助金 9,800万円
- ・ 駅北事業用地有効活用事業 6億7,230万円
- 土地開発公社先行取得用地の買い戻し $A=3,097.93\text{m}^2$



タウンプロモーションの一環のイベント
「て～しゃばストリート」

○ 公共交通バスの確保

1億2,693万円

路線バスの効率的な運行を図るとともに、タクシー等の活用により、
市民の総合的な移動手段を確保。
将来的な路線網再編のための調査を実施

- ・ 自主運行バス等運行事業（収支率15%未満の路線見直し）
城南平島線の運行経路の見直しなど
- 【新】・ デマンドタクシーの導入
藤枝岡部線の代替措置として、藤岡～高田から病院までの
移動手段を確保
- ・ 自主運行バス路線再編事業
バスの路線見直しのための調査
（見直し路線に係る乗車人数の推計等）

- 栃山川河川敷公園の整備
県補助を活用し、河川敷公園を拡張整備

2,800万円

- 市民グラウンドの改修
老朽化した観覧席部分を改修するための実施設計を委託

260万円

拡充) 小学生向け男女共同参画啓発の実施 25万円

- ・ 中学生ふれあい出前講座に加え、小学生マイジョブ講座を新設
- ・ 「地域、職場、家庭、学校」の4つの場での啓発活動を充実
→ 男女共同参画意識の醸成を図る



中学生ふれあい出前講座の様子

- 新) 女性の人権を守るDV防止基本計画の策定
DV（ドメスティックバイオレンス）被害者の立場に立った切れ目のない支援を目指した基本計画を策定

20万円

新) 共生社会推進モデル地区事業

20万円

障害のある人や障害についての理解を深め、誰もが住みよい地域づくりに向けた啓発事業の実施

- ・ 地区社会福祉協議会や学校と連携した福祉講座
- ・ 障害者家族会と連携した啓発映画上映会 など

【3】来訪拡大プロジェクト

～誰もが来訪したくなる藤枝の魅力発信～

(1) 来訪のきっかけづくり

組織】 企画財政部の「広域連携室」を「連携交流室」に改称
近隣市町との広域連携や国際交流、都市間交流により、交流人口の拡大に向けたシティ・プロモーションを主体的に推進します

新) シティ・プロモーション（来訪促進）の推進

- ・ 焼津市と連携し、イルミネーションや観光プロモーション等を実施 500万円
- ・ 島田市と連携してパンフレットを作成し、
韓国友好都市やソウルへの配布とPR 50万円

新) 蓮華寺池公園のエリア拡大と憩いの場の整備 4億6,070万円

西高跡地を活用した環境整備により、誘客促進を図る
実施設計委託、土地開発公社先行取得用地の買い戻し（A=1.34ha）

拡充) 瀬戸谷温泉ゆらくの設備充実 1,200万円

ゆらくに炭酸泉を導入し、誘客促進と利用者の健康増進を図る

○ **岡部宿内野本陣の整備** **1億 300万円**

- ・ 本陣跡の遺構表現、門・塀、舞台整備の完成
- ・ 土地取得会計先行取得用地の買い戻し

A=2,144.35㎡

整備期間：H23～H27

(H26以降は休憩棟、柏屋部分を整備予定)

※25年度末に舞台完成記念事業実施予定

(「蔦紅葉宇都谷峠」の現代劇の上演)



岡部宿内野本陣完成イメージ図

○ **椿園のオープン**

1,740万円

玉露の里周辺に整備中の椿園が完成、H26. 2月頃にオープン予定

○ **デュアルライフの推進**

50万円

都会から中山間地域への移住・定住促進のための相談会を実施
(東京で2回程度開催)



殿のコスモス畑

○ **グリーン・ツーリズムの推進** **150万円**

中山間地域の魅力を発信し、農業体験イベント等を実施する団体に対し事業費を補助

10団体を予定

(2) 消費のきっかけづくり

新) 駅前商店街の商業環境改善への支援

1,350万円

LED街路灯整備及びアーケード撤去に対する補助

老朽化したアーケードを撤去し、明るく買い物しやすい環境整備を行う

新) 東海道と商店街の回遊性の向上

40万円

観光客を商店街に呼び込むための戦略をテーマにしたワークショップの開催

専門家による指導の実施

内容：課題整理から解決、成果品作成 計7回開催予定

新) 藤枝版まちゼミ開催を支援

40万円

商店街等が「まちゼミ」を開催するためのスキルアップ研修会の実施

(トーク術、接客術、資料作成講座)、先進地視察など

○ 藤枝ブランド戦略の推進

100万円

藤枝農産物を組み合わせた贈答セットの開発

開発内容：ロゴマーク、パッケージデザイン、
藤枝農産物等に関する情報誌発刊

○ 茶どころの推進

160万円

藤枝茶の消費拡大を図るためのPR事業

- ・ 藤枝ジュニアお茶博士認定講座 2回
- ・ 友好都市等でのPRの実施 (深谷市等)



ジュニアお茶博士による呈茶の様子

(3) 記念事業にあわせた取り組み

■ 蓮華寺池普請400年記念

新) 記念イベントの実施

- ・ ウォークラリーの開催 65万円
 - ・ 江戸時代の砲術訓練の再現
 - ・ ファイナルイベントの開催
- 500万円



蓮華寺池公園

新) 博物館での企画展等の開催

370万円

- ・ 企画展「蓮華寺池400年物語」 4月6日～5月26日
- ・ 「田中藩本多家の伝来資料」 10月20日～12月8日
- ・ 芸能上演による歴史発信
蓮華寺池歴史ドラマを講談仕立てで上演

■ 軽便鉄道開業100周年記念

新) 博物館企画展の開催

380万円

- ・ 企画展「け～べんノスタルジー」 6月1日～8月4日
- ・ 軽便モデルのミニSLによる乗車体験イベントの開催

【4】「財」創出・向上プロジェクト ～藤枝の価値を向上させる取り組みの推進～

(1) 経済活性化(産業の振興)につながる取り組み

組織】産業振興部に「産業集積推進課」を設置

地域経済を支える市内企業への支援と、県の内陸フロンティア構想に対応し、新たな産業集積を推進する組織体制を強化します

※「産業集積推進係」と「工業支援・労政担当」を配置

■総合的な産業支援

新) 産業振興戦略ビジョンの策定

100万円

総合的な産業振興策を明確に示す産業振興戦略ビジョンを策定

H26. 3月 公表予定

○ 農商工連携・6次産業化等の推進

410万円

農商工連携・6次産業化に積極的に取り組む人、企業を支援し、市内産業の活性化を推進(ネットワーク負担金)

※主な事業 スタートアップ支援事業(商品開発、市場開拓助成) 10件
専門家派遣 延べ13回

○ 内陸フロンティア構想に向けた取り組み

新東名高速道路インターチェンジ周辺工場用地可能性調査等 500万円

■工業の振興

○ **エコノミックガーテニングの推進（取組3年目）** 1,120万円

- H25：①企業の課題解消（業績向上）に向けた具体的支援の実施
（H24の基礎調査の結果を反映）
②異業種連携の強化による新たな商品開発、サービスの創出
③パイロット事業を選定し、具体的成果をPR

【いままでの取組】

H23 国内研究の第一人者による勉強会の実施（経済界、市幹部職員等）
国内先進市5都市による推進都市連絡協議会

H24 ①駅南図書館のビジネス支援拠点化
②エキチカ相談コーナーの開設（専門家による経営相談の実施）
③基礎調査の実施＝結果をH25年度事業に反映
（中小企業93社訪問ヒアリング、景況分析、産業動態調査）

○ **進出企業への用地取得費等を補助**

1億2,360万円

- **企業立地促進事業費補助**
（用地取得費、新規雇用への支援、2企業を予定）
- **設備投資等奨励補助**
（市内移転企業の設備投資への支援、1企業を予定）



駅南図書館のビジネス支援コーナー

■ 農業の振興

新) 農業振興地域整備計画基礎調査の実施

400万円

農業振興地域整備計画定期変更に伴う基礎調査の実施

H25：基礎調査 H26：農業振興地域整備計画策定

新) 藤枝茶みらいプランの策定

214万円

藤枝茶の振興に向けた将来構想の策定

H25：基本構想（藤枝茶みらいプラン）策定

H25～：農業農村整備調査（県事業）、中山間地域総合整備事業による整備

拡充) 茶園管理の機械化への支援

267万円

中山間地域で乗用型茶園管理機を導入する団体に購入費を補助

※従来の県の補助に加え、市独自での上乗せ補助を実施

事業費：500万円

補助額：県167万円（1/3）、市100万円（1/3、上限100万円）



○ 新規青年就農者への支援

1,800万円

新規青年就農者の就農後の定着を図るため、
給付金を給付

対象者：12人（補助額 150万円/人）

■商業・サービス業の振興

○ 開業する人を支援

- ・ 起業セミナーや相談会、交流会の開催 92万円
起業を考える人を積極的に支援
- ・ 新規開業者の店舗改装費等を補助 250万円
6件を予定

再掲】 駅前商店街商業環境改善支援 1,350万円

再掲】 藤枝版まちゼミ開催を支援 40万円

再掲】 東海道と商店街の回遊性の向上 40万円

(2) 施設整備の充実

■福祉施設等の整備支援

新】 障害者の通所施設整備への支援 1,000万円

医療的なケアを必要とする障害児者の在宅支援施設建設に対する補助

交付先：（社）藤枝市社会福祉協議会

補助率：1/2 上限1,000万円

新】 障害者の入所施設の耐震化への支援 290万円

老朽化した障害者支援施設の耐震化工事に伴う整備費の補助

（社）小羊学園 支援センターわかぎ 総事業費 約7億9,800万円

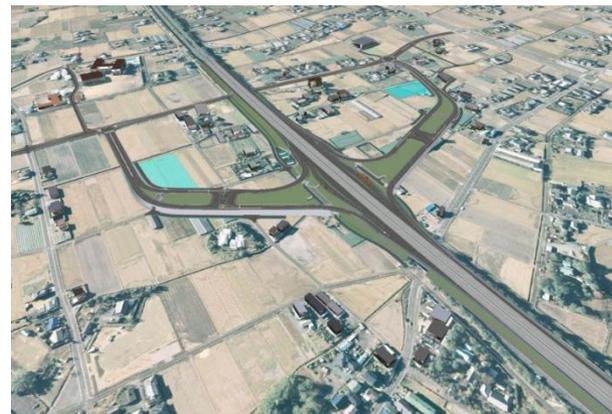
(2) 施設整備の充実

■ インフラ整備の強化

○ 東名スマートインターチェンジの建設

2,360万円

- ・ 焼津市と連携し、富士山静岡空港を活かす
道路交通網の整備（焼津市との負担割合 1/2）
- ・ 整備期間 H23～H27
- ・ 総事業費（概算） 52億円
（藤枝市負担額 3.5億円）
（調査・設計委託、用地・補償、工事（ランプ新設等）等）



東名スマートICのイメージ

○ 焼津広幡線の整備

1,270万円

- 新東名アクセス道路整備の推進（県事業負担金 15%）
H25県事業概要：法ノ川の広幡小橋の上部工桁製作・架設

○ 志太中央幹線の整備

4,500万円

- 天王町、本町、大手区間の道路整備の推進（県事業負担金 15%）
H25県事業概要：物件調査、用地・補償

(3) 市民活動の活性化

組織】市民文化部に「市民活動団体支援室」（協働政策課の課内室）を設置
市民協働の総合窓口として、藤枝型の新しい協働により、
本市の元気づくりを推進する組織体制をつくりま

新) 市民協働の担い手発掘・育成事業

60万円

市民協働についての理解を深めるための「協働フォーラム」を開催

開催時期：6月頃

○ 市民の意見を施策に生かす取組の実施

100万円

市民政策提案を募集して行政施策に反映する
市民1改善事業のPRを充実し、
幅広い市民の方から提案を募集して、よいアイデア
を施策に反映します

○ 市民の被災地における

災害ボランティア活動の支援

100万円

東日本大震災被災地へのボランティア活動補助を継続
(上限：1万円/人、20万円/団体)



平成24年度市政1改善提案受賞者の皆さん

(4) 市役所内部の質の向上

組織】 人事課に「人財育成担当」を配置
職員の人財育成体制を強化します

組織】 岡部支所を課に変更し、
「地域振興係」と「市民窓口係」を配置
機動力と実働性を発揮して、岡部図書館や岡部公民館などとの連携を
図り、施策の実務に重点を置いて、地域の交流と活性化を推進します
※支所長を課長職に変更

新) 焼津市と連携した公共施設マネジメントの推進 **350万円**
両市の公共施設状況の調査と、今後の利活用やアセットマネジメントの研究
(市町村振興協会助成金を活用)

拡充】 “日本一の職員”を目指した職員の育成 **1,000万円**
職員寺子屋・職員修練道場（職員講師・企画による職員研修）の実施
自主研修・実務研修の派遣人員拡大

○ **課税事務の効率化の推進** **370万円**
緊急雇用創出事業（全額県補助）を活用した当初課税事務の委託化による
市民サービスの向上と、併せて時間外の縮減を目指す

3. 本年度予算編成の取り組み



(1) 部別包括予算及びインセンティブ予算制度の活用

経常経費等について全ての部局が、新規事業等を含め優先順位をつけて部局内で調整し、配当枠の範囲内で要求

各部局の権限で効果的な予算配分が可能

対象経費：経常経費、維持補修費、普通建設事業費（市単独）の指定事業

該当事業のH24 一般財源額(A)	H25枠配当額 (一般財源)	H25要求額 (一般財源) (B)	削減額 (A) - (B)
40億6,141万円	39億8,013万円	39億2,828万円	1億3,313万円

○配当枠予算は平成24年度一般財源の98%を配当

**捻出された1億3,000万円余を
戦略事業とインセンティブ予算の財源として活用！**

平成24年度中の各部局の創意工夫の努力に対する評価の結果に応じて、一定の財源を優先的に付与する「インセンティブ予算制度」を実施。各部局の平成25年度の新規事業、事業拡充の財源として活用。

(2) 全事業総点検の予算への反映

1) 総点検結果の概要

「全事業の総点検シート」を活用し、すべての事業を対象に事業内容を見直し、効率的で戦略的な事業展開を図れるような予算編成を実施

$$[H24事業数1002] + [新規事業109] - [廃止・完了事業127] = [H25事業数984]$$

年度別事業数		24年度からの見直しの状況						
		拡大	継続	縮小	統合 (新規)	新規	廃止 (統合含む)	完了
H25	984	26	845	6	11	98	57	70
H24	1,002							
H23	1,013							
H22	1,039							
H21	1,154							
(H25-H21)	▲170							

(+109事業) (-127事業)

← H21年度との事業数の差

【総点検シート活用】
事業の見直しや
整理統合による
財源確保に
最大限の努力

部別包括予算制
度による部局内
調整機能の強化

スクラップ&ビルド
による戦略的な
新規事業の展開

(3) 市民政策提案を取り入れた事業の予算化

“市政1改善提案”制度に応募した市民政策提案の中から、最優秀賞と優秀賞を表彰し、25年度事業に反映して実施します。

◆表彰された提案

- 《最優秀賞》 「子どもへの正しい生活習慣指導・保護者への健診受診啓発」
《優秀賞》 ①「健診受診率向上のための携帯・スマホメール会員制の導入」
②「地域の職場実習を通じた子どもたちの育成」
③「地域における子育てホームページの作成・市役所ホームページの見直し」

1) 優秀提案を取り入れた事業

事業名	内容	予算額
こども健康チャレンジ事業 【最優秀賞】	24年度に提案を反映して着手済 25年度も小学5年生を対象に、保健師が出向いて健康講座を開催(パンフで保護者にも啓発)	80万円
健康マイレージWeb版 【優秀賞①】	H25年2月1日に開始したWeb版の登録者などに健診受診啓発、健診・相談情報を提供	24年度実施
職場体験講座の実施 【優秀賞②】	公民館講座の中で、地域の子どもたちを対象に、様々な職場から講師を招いて講座を開催	既定予算で対応

※【優秀賞③】ホームページの見直しは、24年度に前倒してデザイン等の変更を行い、操作性の向上を図りました。
(子育て情報ページの作成は、リンクの貼付などに課題があり、次のホームページ更新時に向けて検討)

(4) プロジェクトチーム提案の反映

庁内を横断的に、または各職場内でプロジェクトチーム（PT）を編成し、現状の課題解決や市民サービスの向上などをテーマに、職員が自由な発想で意見を出し合い、具体的な施策について検討した結果を予算に反映

☆ 高齢者運転免許証自主返納の支援

25万円

＜目指せ！交通安全日本—PTによる提案＞

運転免許証を自主返納した際に交付される「運転経歴証明書」の手数料1,000円の2分の1を助成

☆ 救命インストラクターの育成

100万円

＜救命率向上PT（消防若手職員）による提案＞

現在、消防署員と消防団員に限定されている救命講習の指導者の資格を、一般の人に門戸を広げ、「救命インストラクター」として救命講習の機会と受講者の増加を図る。（講習用資機材を志太広域事務組合において予算化）

☆ 課税事務の効率化

370万円

＜課税課職員PTによる提案＞

市民税当初課税事務の仕方見直しによる市民サービスの向上と効率化

(5) 超過課税の有効活用

企業のご協力のもと、法人市民税の超過課税を実施。
危機管理体制強化の財源として活用させていただきます！

◆法人市民税超過課税の概要

- (1) 対象法人：資本金等が1億円超の法人
- (2) 超過課税税率：2.2%（12.3%→14.5%）
- (3) 超過課税期間：平成24年度～平成28年度
- (4) 金額（見込）：年間8,000万円程度

◆超過課税を活用する事業



○防災力の強化

デジタル防災無線整備
県防災情報共同システム整備
自主防災組織の支援（防災資機材整備）
原子力災害への対応 など

○消防力の強化

消防団車両の更新
志太広域事務組合負担金
（消防救急無線デジタル化、車両更新等）

○公共施設の耐震化

（西部給食センター、消防団詰所）

○その他危機管理対策



Fin